

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正十年八月二十八日印刷納本(毎月一回一日發行)

# 哲 學 研 究



第六卷第九册  
第十六號

大正十年九月一日發行

眞善美の合一點……………文學博士 西田幾多郎

教育學の論理……………文學士 辻 幸三郎

佛敎史上に於ける日本天台戒律の意義……………

……………文學士 宮 城 信 雅

合衆國に於ける公民科敎授……………文學士 伊 藤 猷 典

學界近況、新著紹介其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部  
京 都 哲 學 會



## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
文學士	寶嚴方夫

### 書記

如き著書が現れたことは、實に我思想界の大慶である。東京市神田區南神保町十六、岩波書店發行、古代篇及同圖録。價九圓。(植田壽藏)

## 寄贈書籍雜誌

死の國々

石川縣 嘸鳥 敏著  
香草舎發行

親鸞聖人論

同 上

父の印象

同 上

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、日華公論、學校教育、教育、内外教育評論、教育學術界、教育研究、教育時論、

# 前 號 目 次

思惟の心理學的研究に就いて……………文學士 大脇義一

伊藤仁齋の教育効果論……………文學士 高橋俊乘

シーク教の過去及び現在……………文學士 手島文倉

理念としての神の實在性……………濱田與助

告 會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介、新刊書、寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文學部 內 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六叁番

定 規 文 註

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内  
 外出版株式會社へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五五番)内外出版株式會社宛に願上候  
 ◎前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券錢御送付下され度候

價 定

冊	數	一定	價	一冊	稅
一	冊	金四拾	錢	壹	錢
六	冊(前金)	金貳圓四拾	錢	不	申
十二	冊(前金)	金四圓八拾	錢	不	申

廣告料 一頁 金貳拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十年八月二十七日印刷納本  
 大正十年九月一日發行

第六十六號 第六卷 第九册

不許複製  
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部內  
 有代表者 京都哲學會  
 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛  
 印刷者 須磨勘兵衛  
 印刷所 京都市北小橋通新町西入

發行所 京都市下京區西洞院七條下  
 西洞院七條下 内外出版株式會社  
 振替口座大阪三二九五五番

發賣元 京都市下京區西洞院通七條下  
 東京市京橋區加賀町十番地 内外出版株式會社  
 振替口座大阪三二九五五番

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 上田屋、(大阪) 盛文館、三文社  
 (神戸) 寶文館、川瀬書店  
 (京都) 共盛社

京都帝國大學  
助教授法學士

本庄榮治郎先生著

# 日本經濟史原論

日本經濟史に關する著書は必ずしも尠からずと雖、その多くは、たゞ徒らに史實を説くのみにして未だ斯學の性質、斯學發達の狀況、研究の必要、その困難、研究の方法等、所謂斯學の根本概念を説明したるものなかりき。そのこれあるは、實に本書に始まる。

從來の日本經濟史に關する著述は研究の材料を示すこと極めて乏しく、斯學入門の士をして霧中に彷徨せしむるの感ありき。本書は研究の材料を解説すること極めて詳密、これがために實に數百頁を費せり。本書を手にはせば、日本經濟史の研究は坦々たる大路を行くが如きものあらむ。

本書は此の如く、斯學に於ける從來の二大缺陷を充すものなり。敢て好學の士に薦む。

送	價	ク	菊
料	定	ロ	判
拾	上	ー	五
八	並	ス	百
円	五	美	頁
也	四	裝	
	圓		
	五		
	拾		
	銭		
	也		

發 行 所 內 外 出 版 株 式 會 社

(番〇五一四下話電五五九二三阪大替振)

下條七院洞西市都京

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正十年八月二十八日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究 第 六 十 六 號